

9月議会

鳥獣被害対策の実態と踏み込んだ対策について
狩猟者の育成と捕獲獣の処理・処分・場所の確保を



菅原明議員

倉成淳市長は、報告のあった被害は令和6年度は、前年度に比べ減っているとし、対策として①捕獲等に関する取

**スマート機器を使い
捕獲活動の負担軽減を
めざしたい**

奥州市への被害報告

年度	報告件数	面積	被害額
R5	111件	約13.3ha	649万2千円
R6	94件	約8ha	465万円

- ①捕獲等の取り組み
有害捕獲サポーターの育成、箱穴の貸し出し
防除意識の向上のための研修会、狩猟免許取得の補助等
- ②防護柵の設置等に関する取り組み
防護柵の正しい知識を普及するための研修会、
市独自の電気柵設置補助等



そのうえで、今後の対策として、国の交付金を活用しスマート捕獲等普及加速化推進

事業によりセンサーカメラや遠隔操作捕獲等のスマート機器を活用した効果の実証実験を行い捕獲活動の負担軽減につなげたい

合わせて捕獲した有害鳥獣の処理について、喫緊の課題だとして、解体場所の確保、集合・埋設場所について、猟友会や地元と協議し市の遊休施設の活用などで確保に努めました。

狩猟免許取得後も

養成基幹が必要



菅原明議員は、猟友会の高齢化の問題にかかわり、後継者の育成について、免許取得後の養成の在り方について質しました。

倉成淳市長は、第一次收容避難所のうち28カ所の地区センターでは会議室・和室にエアコンが設置されており、各総合支所、奥州市総合体育館に空調設備がそなえら

体育館など現時点で困難

菅原明議員は、国内では地震や台風、豪雨といった自然災害が頻発しており、指定避難所での熱中症の危険が高まるため、エアコンの設置は被災者の健康を守る上で欠かせないとして、災害時の停電にそなえ発電装置と併せての整備を求めました。

れている。

しかし、水害時の避難所である姉体小学校、稲瀬小学校、玉里地区の農業者トレーニングセンターの体育館の他、大規模災害時に想定されている地区センターの体育館にはエアコンが設置されておらず、大きな課題だと考えていると述べました。

避難所の熱中症対策としては、災害時応援協定締結企業から、スポットクーラー、大型扇風機などの冷却資材、飲料の提供を受ける予定としており、必要に応じて、エアコンが設置されている他地域の避難所への非難をお願いすることも考えている。

避難所環境の向上に向けて施設担当者とともに空調設備設置に関する課題を整理し、国の補助金を活用した計画的な導入の可能性について検討を進めたいと回答しました。

猟友会で12年経験を

積み市に推薦していただく

担当者は、猟銃免許の取得について全額、銃の取得については二分の一、10万円を限度に補助しており、昨年は7件の免許取得があり、うち20歳代、30歳代が各一名で、一度猟友会に加入後、12年実績を積み、市の方に推薦してもらおう形をとっている。

また、猟友会の負担を軽減するための有害捕獲サポート事業ということで、罠を仕掛けたら餌やりや見回りをするサポーターを配置し負担軽減に取り組んでいることを明らかにしました。

民報

おうしゅう

読者版

発行
赤旗奥州出張所
水沢大手町3丁目59
Tel 24-2021
Fax 24-2049

